

「まちをつくるようにともにつくる」

ふるまいから形について考えよう ① 町中の好きな場所からリサーチする ①



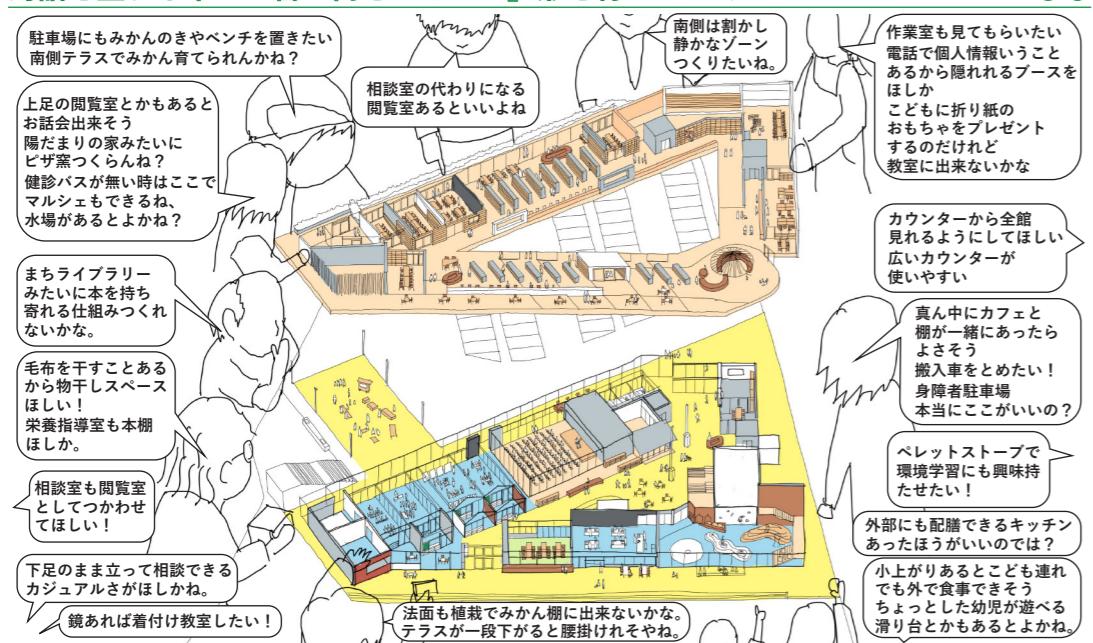
「室名の箱を置く」より、「ホームやストリー
トにこんな振る舞いがあつてほしい」を町民
の皆さんと議論します。WSにて模型やス
ケッチで形を提示し、付箋や書き込みにより
様々な意見を反映させ、長与らしい活動・交
流の場とテキストを考えます。

町そのものを健康づくるプロジェクト



新施設の建築の完成をゴールとするのではなく町そのものを健康づくることをゴールとし
ます。建築の検討の中で今からやれるものや、WSを完成後も継続していく仕組みを同時に
生み出します。

対話を重ねる中で「善い街をめざして」形を育っていく



WSで集めた意見を模型や図面にし、ラボにて議論を行い、町民のラボリーダーにラウン
ドテーブルで発表を行っていただきます。経緯をテキスト化し、町民に周知します。

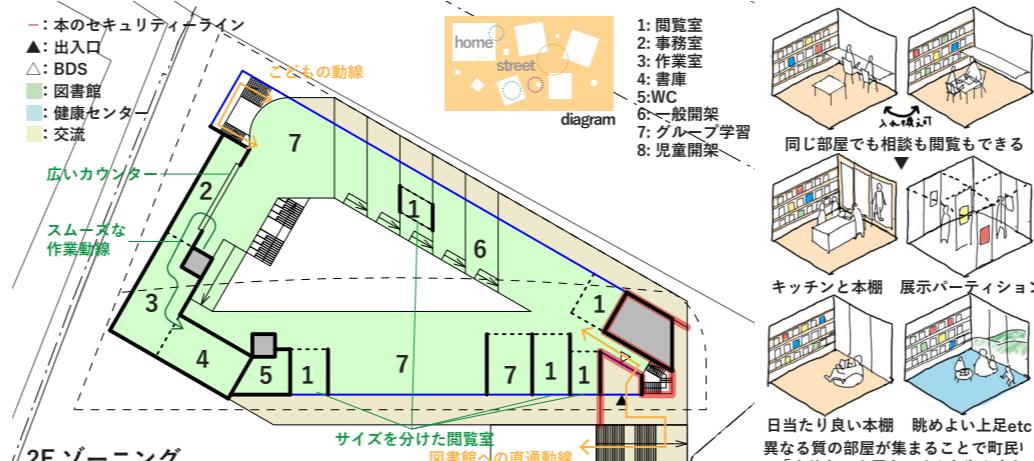
「建築を計画する上で大事にしたいこと」

眺めの良さと南面でつくる三角形配置 ②



長与町には見晴らしの良さや川原石の基壇、漁師町を感じさせる川等様々な場所があり、町民それぞれにとっての長与町の美しさ・喜びの形や言葉を集めます。郷土資料の写真・住人からの写真、詩やテキストを集めて、ホームやストリートに取り込みます。

明確なゾーニングと役割の交換による機能の融合



太陽のエネルギーを取り込む山並みと連続する大らかな屋根



三角形の屋根に南面する切込みを入れて冬場のみ日射を取得できる開口部を設けます。
ZEBのための太陽光パネルを設置しながら、太陽熱も同時に取得できる屋根です。幾何学的な作り方をはっきりさせることで、ローコストにつながり、開口面積によって熱がどれくらい変わるのがWSにて検討しながら形態を決めていきます。

